

【音楽科のグランドデザイン】

何ができるようになるか ○各教科等で育成する資質・能力		何が身に付いたか ○各教科等の学習評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能 ・ 音楽のよさや美しさを味わって聴く能力 ・ 音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度 ・ 生活や社会の中の音や音楽と音楽文化と豊かに関わる資質、能力 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けようとしている。 ・ 音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・ 音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しもうとしている。 	
子供たちの実態		子供たちの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に取り組む生徒が多く、実技の練習などはしっかり取り組んでいる。しかし、読譜力など基礎的な知識が身についていない生徒がいる。授業外で音楽を聴いたり演奏経験に差があるため、知識・技能の習得に差がみられる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内で個別指導をしたり、グループ内で教えあう時間を設ける。 ・ 授業の目標と流れを板書しておく。 ・ 配布物の工夫をする。 	
何を学ぶか ○各教科等の教育課程の編成		どのように学ぶか ○各教科等の授業の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感性を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりすること ・ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深めること 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人やグループでの練習時間を多く取り入れる。 ・ グループで発表する機会を設定する。 ・ 模範演奏を視聴させることにより、主体的に取り組める工夫をする。 ・ 様々なジャンルの音楽を鑑賞させ、日本だけではなく世界の音楽文化に興味関心を持たせる。 	
実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽科と情報交換、研究授業見学、研修に参加し、指導力向上に努める。 ・ ICT 機器、教材・教具の充実 			
各教科等の特質に応じた「見方・考え方」			
音楽に対する感性を働かせ、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などを関連付けること			